

なでしこリーグでの熱中症対策に協力

塩と暮らしを結ぶ運動では、女子サッカーのなでしこリーグのファン・サポーターへの熱中症対策に協力しました。

なでしこリーグ 2部の日体大FIELDS横浜（塩と暮らしを結ぶ運動協力団体）では、リーグ開幕が4か月遅れの7月となり、厳戒態勢が続く中で、「誰もが楽しめるスタジアム」から、「誰もが楽しめる応援スタイル」へと目指す環境をシフトし、新型コロナウイルスと熱中症のダブル対策に取り組んでいます。

来場されるファン・サポーターの方々には、新型コロナウイルス対策としては、入場者数を制限した上で、マスクの着用や、3密を避けての観戦をお願いしています。また熱中症対策としては、ポスターを掲示して注意を呼びかけるとともに、ウォーターサーバーの設置や、ウチワ、塩と暮らしを結ぶ運動の塩飴の配布を行っています。

これらの対策は、新型コロナウイルスの流行下でもスタジアムにお越しいただける熱心なファン・サポーターの方々に、大変好評をいただいています。

